

ジオラマがリニューアル

宮崎 ブーゲンビリア空港

より華やか 新たに天孫降臨の物語

宮崎市の宮崎ブーゲンビリア空港を臨出発ロビーに展示されている天孫降臨と宮崎の祭りジオラマのリニューアルオープンセレモニーが15日にあり、より華やかに生まれ変わった宮崎の伝統と文化の舞台がお披露目された。

ジオラマは2001年に宮崎空港ビル(高層ビル)の紙人形を、観光用のモニター映像とともに展示してきた。

リニューアルは、今年3月に宮崎空港ターミナルビルが30周年を迎えた記念と、県内初開催となる10、12月の国文祭・芸術祭など、無形文化財に指定されている県内

33万軒の祭りや伝統芸能の紙人形を、観光用のモニター映像とともに展示してきた。

リニューアルは、今年3月に宮崎空港ターミナルビルが30周年を迎えた記念と、県内初開催となる10、12月の国文祭・芸術祭みやさきの00への協力事業。宮崎市在住の紙人形作家、岩切映幹氏が天孫降臨の物語を表現した20体を新たに加え、従来の和紙人形も修復して彩色を施した。

昨年5月には3階エナポートギャラリーに、日



リニューアルした「天孫降臨と宮崎の祭り」のジオラマ



日向神話のステンドグラス

本を代表する影絵作家の藤城清治氏がデザインした百向神話のステンドグラスも完成しており、同の方に、宮崎の文化と伝統を期待している。

「統を感じてもらえれば」